

トヨタ・モビリティ基金支援事業

天草市の離島・御所浦と内陸部との往来を更に活性化させる、
「水俣港シェアリングカー」のモニター事業を開始します。

NPO法人イーモビネット(本部:熊本市中央区/代表理事:鶴岡良一)は一般財団法人トヨタ・モビリティ基金の支援を受け、離島である天草市御所浦町と不知火海対岸地域を海上タクシーと陸上交通でシームレスに繋ぐ「うみラクプロジェクト」を推進していますが、この度、水俣・葦北地域との往来の利便性を高めるため、水俣港で手軽に借りれる「シェアリングカー」を配置するモニター事業を開始いたしますので、お知らせします。

事業概要 水俣港シェアリングカー モニター事業

- 1. 実施内容** 水俣港(百間港)に、シェアリングカー(電気自動車)を配置し、御所浦港からの海上タクシー(定期便、チャーター便)利用者に貸し出します。シェアリングカーはスマホなどを用いて予約・利用・返却を可能とします。当面は、軽の電気自動車1台を配置し、事前登録により無料で利用可とします。
- 2. モニター期間(無料)** 2020年2月17日(月)より3月末まで
- 3. サービス開始時期** 2020年4月より(予定)

▶ これらの取り組みにより、島民の生活の利便性を高めるとともに観光振興にも寄与することで、御所浦・天草地域の活性化につなげていきます。

お知らせ 水俣港シェアリングカー出発式

- 1. 日時** 2020年2月17日(月)12:30~13:00
- 2. 場所** 水俣港(百間港) 水俣市水俣市月浦
- 3. 当日の内容**
 - ◎周辺自治体など関係者、報道関係者へ実施内容のご説明
 - ◎モニター利用者第1号(御所浦住民)が海上タクシーで到着(12:40頃)し、実際にシェアリングカーを利用されます。



本件に関するお問い合わせ

うみラクプロジェクト事務局 tel. 080-5207-7131(野口)

トヨタ・モビリティ基金の
助成事業について

- ① 助成事業名**「地域に合った移動の仕組み作り」活動資金助成
「地域に合った移動の仕組み作り」に取り組む日本国内の地方公共団体やNPO等を支援する助成金プログラム。
- ② 助成金額** 一件最大3,000万円/2年間
- ③ WEBサイト** <http://min-mobi.jp/>

◎一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金

一般財団法人トヨタ・モビリティ基金は、2014年8月の設立以来、豊かなモビリティ社会の実現に貢献することを目的に、日本の中山間地域における移動の不自由を解消するプロジェクトへの助成や、助成活動を通じて得た学びを冊子「みんなで作る地域に合った移動の仕組み」の発行、さらには、新興国における交通手段の多様化、人工知能による交通流最適化の共同研究など、世界のモビリティ分野における課題に取り組んでいます。(助成事業の募集要項より抜粋)

NPO法人 イーモビネットについて



設立 2017年10月(NPO法人化)(創立 2016年4月)

本拠地 熊本県熊本市 代表者 代表理事 鶴岡良一

事業内容

地域活性化事業 次世代モビリティを活用した観光振興、まちづくり、医療・福祉・生活サービス並びに地域活性化事業
普及啓発・人材育成事業 次世代モビリティ普及のための政策提言、啓発活動、情報発信並びに人材育成事業
研究開発・実証事業 次世代モビリティ並びに再生可能エネルギー関連の研究開発・実証に関する支援事業並びに受託事業
企画・販売事業 次世代モビリティ等の販売・レンタル・リース事業並びに関連するレンタカー・カーシェアリング事業
その他 「モビリティ」「エネルギー」に関する商品・システム・サービスの企画・販売事業



うみらく UMIRAKU について

九州に抱かれたおだやかな内海、不知火海は、橋でつながっていない島々が点在するエリアです。

島々と九州本土につなぐ、島民や観光客といった人々の往來のための定期船がいくつもの航路で運航しています。

ただ定期船航路は、便数や運行時間が限られているので、朝夕の時間帯などにチャーターできる小型船舶「海上タクシー」も、重要な海の交通手段のひとつとなっています。

この海上タクシーはとても便利なものですが、島民からすると定期船に比べて割高な料金や着岸港からの交通連結がないこと、観光客からすると予約方法がわかりづらいといった課題があり、その力を存分には発揮できていない状況です。

そこで私たちは、この海の交通を、テクノロジーを用いてもっと便利に、もっと使いやすくするべく、2019年5月に「うみらくプロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトでは、不知火海に浮かぶ熊本県唯一の離島の町、御所浦を「ハブ」として、そこで活躍する海上タクシーを情報技術により“乗合い海上タクシー”として乗客を束ねることで、低料金で利用できるようにします。

さらには、天草（本渡）、三角、八代、水俣など不知火海をとりまく対岸港での“シェアカー”の配置や乗合タクシーの利用によって、島民や観光客に対して「島⇄海⇄陸地⇄他地域」をもっとラクに、もっと楽しく移動していただけるサービスを開始します。



乗合い海上タクシーサービス提供エリアのイメージ



当プロジェクトは、トヨタ・モビリティ基金の支援を受けNPO法人イーモビネットが幹事団体として推進している事業です。
（「天草の離島を「海の道」で繋ぐモビリティ・シェアリング」事業）